

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年9月10日

【会社名】 イハラケミカル工業株式会社

【英訳名】 IHARA CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 望月 信彦

【本店の所在の場所】 東京都台東区池之端一丁目4番26号

【電話番号】 03-3822-5223（代表）

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 松永 勝之

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区池之端一丁目4番26号

【電話番号】 03-3822-5223（代表）

【事務連絡者氏名】 経営管理部長 松永 勝之

【届出の対象とした募集有価証券の種類】 株式

【届出の対象とした募集金額】 その他の者に対する割当611,672,000円

【安定操作に関する事項】 該当事項はありません。

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成26年9月9日付で提出いたしました有価証券届出書について、平成26年9月10日付で四半期報告書（第50期第3四半期（自平成26年5月1日至平成26年7月31日））を提出したことに伴い、当該四半期報告書を組込情報に追加し、必要な修正をするため、本有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第三部 追完情報

- 1 事業等のリスクについて
- 2 臨時報告書の提出
- 4 最近の業績の概要

第四部 組込情報

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____ 罫で示してあります。

第三部【追完情報】

1 事業等のリスクについて

（訂正前）

後記「第四部 組込情報」記載の第49期有価証券報告書「事業等のリスク」について、本有価証券届出書提出日(平成26年9月9日)までの間に生じた変更その他の事由はありません。

また、当該有価証券報告書の「事業等のリスク」には将来に関する事項が記載されておりますが、本有価証券届出書提出日現在においてもその判断に変更はなく、新たに記載する将来に関する事項もありません。

（訂正後）

後記「第四部 組込情報」記載の第49期有価証券報告書および第50期第3四半期報告書（以下「有価証券報告書等」という。）「事業等のリスク」について、本有価証券届出書の訂正届出書提出日(平成26年9月10日)までの間に生じた変更その他の事由はありません。

また、当該有価証券報告書等の「事業等のリスク」には将来に関する事項が記載されておりますが、本有価証券届出書の訂正届出書提出日現在においてもその判断に変更はなく、新たに記載する将来に関する事項もありません。

2 臨時報告書の提出

(訂正前)

後記「第四部 組込情報」記載の第49期有価証券報告書の提出日(平成26年1月27日)以後、本有価証券届出書提出日(平成26年9月9日)までの間において、以下の臨時報告書を関東財務局長に提出しております。

(後略)

(訂正後)

後記「第四部 組込情報」記載の第49期有価証券報告書の提出日(平成26年1月27日)以後、本有価証券届出書の訂正届出書提出日(平成26年9月10日)までの間において、以下の臨時報告書を関東財務局長に提出しております。

(後略)

「4 最近の業績の概要」の全文削除

第四部【組込情報】

(訂正前)

次に掲げる書類の写しを組み込んでおります。

有価証券報告書	事業年度 (第49期)	自 平成24年11月1日 至 平成25年10月31日	平成26年1月27日 関東財務局長に提出
四半期報告書	事業年度 (第50期 第2四半期)	自 平成26年2月1日 至 平成26年4月30日	平成26年6月12日 関東財務局長に提出

(後略)

(訂正後)

次に掲げる書類の写しを組み込んでおります。

有価証券報告書	事業年度 (第49期)	自 平成24年11月1日 至 平成25年10月31日	平成26年1月27日 関東財務局長に提出
四半期報告書	事業年度 (第50期 第3四半期)	自 平成26年5月1日 至 平成26年7月31日	平成26年9月10日 関東財務局長に提出

(後略)

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年9月9日

イハラケミカル工業株式会社

取締役会 御中

芙蓉監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 潤 印指定社員
業務執行社員 公認会計士 畔村 勇次 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイハラケミカル工業株式会社の平成25年11月1日から平成26年10月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成26年5月1日から平成26年7月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年11月1日から平成26年7月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イハラケミカル工業株式会社及び連結子会社の平成26年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は、平成26年9月9日の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を決議している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。